

2 林業マップ



【日野川の森林木材団地】
日野川流域の総合木材流通加工拠点。(株)オロチ、(株)米子木材市場、山陰丸和林業(株)が進出。(日南町下石見)



【日野川流域材の活用】
地元のスギを使用したLVL(単板積層材)製造工場が完成。H20.4から操業開始した。(日南町下石見 (株)オロチ)



【森林環境保全税の活用】
放置され手入れができていない森林を強度間伐し、公益的機能の回復を行っている。



【公共事業での木材利用】
木材の需要拡大のため、行政が率先して木材を使う工夫を行っている。林道では法面の草抑えとして利用している。(日南町上萩山林道窓山線。左は(株)オロチが排出する剥き芯を利用。)



【とっとり共生の森】
○天然水の森 奥大山(江府町)
…サントリー(株)
○ごうぎん希望の森・奥大山(江府町)
…山陰合同銀行
○とっとり日通の森(日南町)
…日本通運(株)
県・市町村が企業と地元の架け橋となってできた共生の森において、森林の保全活動、体験学習を行っている。



【板井原県有林】
537haの森林。森林認証(SGEC)をH16年に取得し、環境に優しい施業を実践。H22にカーボンオフセットを推進するため「鳥取県県有林J-VERプロジェクト」の認証を受け、企業等に販売している。(日野町板井原)



【低コスト林業モデル団地】
施業の団地化、路網の高密度化と崩れにくい作業道を組み合わせ、伐採搬出コストを削減するためのモデル的取組みを行っている。(日南町下石見)



【日南町庁舎・日南小学校】
地域で生産・加工された木材を使用した木造公共施設。地域材利用のシンボル。日南小学校には(株)オロチのLVL使用。(日南町霞)



【林業専用道の整備】
林道までの木材運搬は林内作業車や2トン程度のトラックで行われていましたが、大型トラックが通行できる林業専用道を整備することで大幅な時間短縮とコスト



【鳥取式作業道の推進】
災害に強く、長期間の使用に耐えるように、転圧棟丁寧な施工と、早期緑化を行うための表土ブロックを施工する作業道の作設を推進している。